

## 第 10 回 札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会を開催

札幌開発建設部では、幾春別川総合開発事業について事業費・工程監理の一層の充実を図るため、コスト縮減策やその実施状況、事業の進め方等について学識経験者等のご意見を頂く場として、「札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会」を開催いたしました。

### 記

- 開催日時 平成 29 年 9 月 7 日（木） 14：30～16：00
- 開催場所 札幌開発建設部内会議室
- 議 題
  - (1) 事業の概要
  - (2) 平成 28 年度の工事実施状況
  - (3) 平成 29 年度の工事内容
  - (4) 主な意見に対する対応状況
  - (5) コスト縮減への取り組み



「札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会」委員名簿 ◎委員長（敬称略、五十音順）

名前	役職等
◎泉 典洋 いずみ のりひろ	北海道大学大学院工学研究科教授
船木 淳悟 ふなき じゅんご	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ グループ長
向田 直範 むかいだ なおのり	北海学園大学 名誉教授
山下 弘市 やました ひろいち	元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員

## ◆結果の概要◆

札幌開発建設部ダム事業費等監理委員会では、議題について、工事実施に係る事業費・工程監理に関する事項、第9回の当会議（平成28年開催）で出された主な意見（下記参照）に対する対応状況及びコスト縮減策を審議いただき、妥当であることが確認されました。

### <主な意見>

- 新桂沢ダム堤体建設工事の工程について、今後は契約後の実施工程により議論することとする。
- コスト縮減の取組として示されたリムトンネル内の覆工工法変更（コンクリートからモルタル吹付に変更）については、施工時に岩盤を確認した上で対応が可能か判断すること。また、土砂等による閉塞も合わせて検討すること。

### 審議内容（委員会意見等）

- 新桂沢ダム堤体建設第1期工事の設計変更について、堤体建設で計画されている内容であり、増額も予算内であることを確認した。
- 新桂沢ダム堤体建設に伴うコスト縮減は、工種毎の施工期間やサイクルタイムを考慮して算出した縮減額であることを確認した。
- 新桂沢ダム堤体建設の実施工程は、後工事も含めたものであることを確認した。
- 新桂沢ダムにおいて、ダムコンクリートの品質向上を目的として、打設途中の越冬時に温度応力対策を実施しているが、温度応力対策が品質に与える影響が大きいことから、打設完了後の越冬時の対策の必要性も検討すること。
- 新桂沢ダムの試験湛水計画については、過去20年のシミュレーション結果に基づいて検討していることを確認した。

（以上）